

業務部速報

申17号

No. 62

発行 13. 5. 15

JR東労組 業務部

組合員一要求による労働条件向上を求める申し入れ

20日

第1項 パワーハラスメントのない職場風土とメンタルケアの充実をはかること

組合

メンタルケアが必要な人は増加傾向にあるのか。背後要因など会社の分析は。

会社

相談件数が H19 年度 2000 件で前年度は 2300～2400 人と増加傾向にある。

理由は、仕事だけが原因で休まれる方はあまりいないように感じている。

休む原因は職場にあるとして背後要因を把握することを要請！

第6項 出向者の事務手続き等を各事業所で行えるようにすること！

組合

出向者は施策を担っている人たちだ！自職場で取り扱えるようにしてすべしだ！

会社

出向先への委託は個人情報もあり難しい。事務手続きについては今後集約していきたいと考えている。

会社施策による出向で事務手続き上ふべんになることに不満の声が大きい。

支社の担当が今も個々で工夫をしている。郵送で済ませるなど工夫してやっていく。

また、「3歳毎人間ドッグ」の対象者を出向者にも拡大すること！

組合

福利厚生面でJR本体と会社施策の出向者の処遇が違うのはおかしい！出向者の健康管理をどのように考えているのか！

会社

あくまでも出向者の方の健康管理は出向先で面倒を見るルールとなっている。出向者の方に配慮して3年トータルで差が出ないようにしている。

社員として出向していることを意識すること！今後の検討課題であることを確認！

第7項 エルダー社員も配偶者人間ドッグを受診できるようにすること！

組合

エルダーになったからいきなり待遇が変わるのはおかしい！配偶者の健康管理は仕事を行う上で重要だ！

会社

3年に1度5000円。それ以外は特定検診を無料で受けられる。人間ドッグとほぼ同じで婦人科検診もオプションで受けられる。

特定検診の利用率を示すこと！配偶者が人間ドッグを受けられるように要請！

第10項 カフェテリアポイントを300ポイントとすること！出向者、エルダー社員も同数、同メニューとすること！

組合

230ポイントでは少ない。会社の増収旅行に行くと福利厚生で利用できる分がなくなる。ポイント数を増やすための条件は何だ！

会社

現在の利用率は60%程度。一部の社員でなく全体で使用してもらうものなので、利用率のアップが増やす条件である。

利用率増加を労使共通課題とし、増加に伴いポイントアップ検討を要請！